



AES

日本美術教育学会
The Art Education
Society of Japan

日本美術教育学会会誌

美術教育

No.
290
2007

2007/3/1発行

【目次】

巻頭言:「見る」ことの意味を問う—表現と鑑賞を結ぶもの—

●神林 恒道 ————— 004

研究論文

【京都の美術学校における美術教育の近代化について】

The Modernization of Art Education at Art Schools in Kyoto

●田中 圭子 ————— 008

【鑑賞における幼児と保育者とのかかわり】

Contact with the Childcare Person and Small Children in Appreciation

●鳥越 亜矢 ————— 016

【鑑賞の質的共有を目指して—視覚に障害のある人々と共に行う美術鑑賞に学ぶ(2)—】

Sharing Paintings and Drawings with the Visually Challenged

— Learning from Enjoying Works of Art together (II) —

●日野 陽子 ————— 026

実践報告

【体験目標を位置づけた鑑賞教育の実践】

●松岡 宏明 ————— 038

【「ほら、声がかきこえるよ」(立体に表す)】

●松山 章美 ————— 048

【対話型鑑賞法による鑑賞授業の可能性を探る—対話型鑑賞法による学習効果を検証する—】

●松村 一樹 ————— 052

【書道における自己表現の可能性—漢字一字書創作を通して—】

●遠藤 ゆみ ————— 056

研究報告

【中国の中学校美術教科書の特徴と掲載作品についての考察】

●新関 伸也 ————— 062

【中国近現代美術教育における鑑賞教育の位置づけとその理念】

●梅澤 啓一 ————— 070

【台湾における美術教育の現状と課題—九年一貫課程と課程統合—領域化導入後の台湾美術教育についての—
考察—】

●大橋 功 ————— 076

【日本の鑑賞教育の課題】

●小林 修 ————— 086

【日本と韓国、それぞれの近代主義をめぐる—鑑賞教育のための視座—】

●大嶋 彰 ————— 092

【ドイツにおける日本美術への視線と日本の美術鑑賞事情】

●泉谷 淑夫 ————— 98

【アメリカにおける東アジア美術の鑑賞教育について—教師用教材に見られる特徴—】

●赤木 里香子 ————— 108

第55回学術研究大会
静岡大会報告

講演

【日本の美しさとは何か】

●木村 尚三郎 ————— 114

追悼

【木村尚三郎先生を偲ぶ】

●柴田 有年 ————— 120

共同討議

【「つくり出す喜びから生きる喜びを求めて」—美術教育の力を改めて問う—】

●鈴木 英司・神林 恒道・近藤 育夫・大橋 功・上中 良子・鈴木 まき子 ————— 122

研究発表

【京都画壇における美術教育の近代化に関する一考察】

●田中 圭子 ————— 130

【「創造性と他者との関係性」—知的障害者とアーティストによるアートリンク・プロジェクトの可能性—】

●田野 智子 ————— 134

【「幼児を生きる・幼稚園で生きる・お母さんと生きる」

—かいたりつくったりする活動への保育参加をとおして、お母さんの幼児理解を深める—】

●鈴木 克子 ————— 136

【東アジアにおける鑑賞教育の現状調査ならびに比較研究

—ジャンル・教科に関する認識と異文化共有の視点をめぐって—】

●萱 のり子 ————— 140

【「世界をつなぐアニメーションプロジェクト」—アニメーションが開く他者理解と国際交流—】

●地場 賢太郎 ————— 142

【「他者理解を促す造形活動の一考察」—絵本“ゆきちゃん物語”をもとに—】

●橋本 忠和 ————— 146

【岡山県立美術館「国吉康雄展」と連動した中学校美術科鑑賞教材開発とその展望】

●山口 健二・森 弥生・赤木 里香子 ————— 150

【ふたを開ける ふたを閉じる 造形教育—描かせるだけが造形教育か—】

●鎌田 千賀子 ————— 152

【総括】

●神林 恒道 ————— 154

書評:『京の美学者たち』●新関 伸也 ————— 156

書評:『ベーシック造形技法』●梶岡 創 ————— 157

書評:『色彩の芸術と科学』●大橋 功 ————— 158

事務局だより ————— 159

学会会則、学会誌編集規程等、投稿用紙 ————— 161